



～優しい子・元気な子・賢い子～

あたる子

11月は、深める

立冬が過ぎてても小春日和が続いています。2学期には、1学期に身に付けた力を伸ばしていこうと、9月は「挑む」、そして10月には「続ける」をテーマに努力を重ね、11月には、秋の深まりと共に、その力を更に伸ばしていこうと「深める」をテーマに学校生活を充実させてきました。

11月の全校集会では、特に、授業を「深める」ことを頑張してほしいと以下のように話しました。

例えば、毎時間の授業について考えてみましょう。皆さんは、授業の始めに決める「めあて」が本当に分かっているのでしょうか？

1・2年生ならば、このめあてがよく分かって、「よし、やるぞ」と思っていなければなりません。3・4年生ならば、めあてを先生と一緒に考え、その方法も見つけることができるでしょう。5・6年生ならば、一人一人が自分でめあてを考え、見通しが持てるというところまで、意識してほしいと思います。そうです。めあては、皆さん一人一人のものなのです。まずは、めあてを自分のものにすることが深める第一歩となります。

そして、そのめあてを解決したり、達成したりする中で、どうしても一人では難しいことや友達と一緒に考えた方がより良い答えにたどり着ける時には、隣の席の人やグループの人たちと話し合うと思います。その時に、「自分はよく分からないなあ。」と思っている人はどうしていますか。きっと、「困ったなあ。」などと思いながら、黙っているのではないのでしょうか。それでは、学習は深まりません。勇気を出して、「教えて」や「どうやるの」と声に出してください。また、分かっている人は、困っている人に、「大丈夫？」「ここまで分かる？」などと聞きながら、話し合いを進めてください。そう言われたら、分からなかった人も「どういうこと？」「もう一回、説明して」などと話すことができます。そうです。学びを深めるためには、相手のことを考えながら、聞き合うことが大切です。そうすれば、授業の最後にみんなでまとめができ、自分の学びを振り返ることもきちんとできるようになると思います。全校の皆さんが、1時間1時間の授業をこのように深めれば、「賢い子」になること間違いなしです。ぜひ、行動に移してほしいと思います。

11月も終盤を迎えます。このように努力をしてきた子供たちの様子を授業参観でぜひ御覧になってください。お待ちしております。

3年ぶりの小音会

11月8日～10日、3年ぶりとなる小音会が開催されました。愛宕小学校は、8日午前

に4年生が出演し、合奏を披露しました。先に登場したのは4年1組で、緊張の中にも、人気アーティスト「緑黄色社会」の「Mela!」を見事に演奏しました。子供たちもよく知る曲で会場が沸いていました。



4年2組の出番は後半でしたので、やはり気になる様子の子供たちでしたが、舞台での演奏はソロパートも含めて堂々としたものでした。曲は「Official髭男dism」の「ミックスマナツ」で、アニメのテーマソングということもあり、他校の児童も喜んでいました。



1ブロック午前の部では、11校から21の合唱や合奏等が披露されましたが、どの演奏もこれまでの練習の成果が感じられるものでした。また、学校や学級の温かさや仲の良さなど日頃の様子が伝わってくる演奏ばかりで、子供たちと共に、楽しく聴くことができました。

交歓会も3年ぶり！

11日には、こちらも3年ぶりとなる特別支援学級中央部ブロックの交歓会が実施され愛宕小学校からはひこかぜ、そよかぜ学級の1年生から6年生、22名が参加しました。

おうちの方々の応援を受けながら一人一人がかけっこで全力疾走し、○×クイズや王様じゃんけんも楽しみました。メインイベントは「パプリカ」で愛宕小児童が代表でステージや会場前面に出て、楽しく、元気のよいダンスを披露しました。他校児童とも交流ができ、楽しい時間を過ごすことができました。

